

市長との対話集会開催記録

| | | | |
|------|----------|------|-------------|
| 団体名 | ユースボイス | 実施日 | 令和8年4月7日（火） |
| 実施場所 | 市民活動センター | 参加人数 | 12名 |

【主な内容】

- ・フィンランドの若者議会を例にした若者の政治参画について



【対話内容（抜粋）】



参加者

フィンランドでは、法律により若者議会の設置が義務付けられており、若者が自らの声を発信し、それを政治に反映できる環境が整えられています。こうした取り組みは一過性のものではなく、継続的に行われ、市民の文化として根付いています。

一方、日本では、若者が意見を述べても、なかなか受け止めてもらえる機会が十分とは言えません。北名古屋市においても、若者議会の設置や議員の方々との交流の機会を創出することで、若者が意見を発しやすい環境を整えていくことが重要だと考えます。

そこには、学校における教育の役割も大きく関わっています。子どもたちには、自分のことだけでなく、学校や家庭、さらには地域で起きていることを自分事として捉え、そこで生まれた考えや意見を積極的に発信して行ってほしいと思います。

若者の意見に耳を傾けることは大変重要だと思います。これまでも対話集会やワークショップを通じて、中学校体育館へのエアコン設置や小学校の校庭開放、誰もが利用しやすい市民活動センターの整備など、市民の皆様の声施策に反映してきました。

これまで若者議会の導入について具体的な議論はありませんでしたが、こうした取り組みについても積極的に検討していく必要があると考えています。

また、事業の継続性が課題の一つですが、何よりもまず、子どもたち自身が「やってみたい」と感じる気持ちを大切にすることが重要ではないでしょうか。近年は個人の意見が重視される傾向にありますが、幼い頃から地域やまちのことに興味を持ち、地域全体のためを考えて行動できるような意識を育むことが大切だと思います。



市長